



分科会より	各分野の施策の方向性	関連計画
<p><b>1. 低炭素・エネルギー分野【低炭素分科会】</b>  <b>1) エネルギーマネジメント</b>  <b>【統計資料等から】</b>  ・市全体の環境負荷が増加する傾向があり、さらに世帯あたり人口が減っていることから、一人あたりのエネルギー使用量が増加する傾向があり、エネルギー使用の削減が急務である。  ・市の事務事業に関する温室効果ガス排出量の現況が把握されておらず、取り組みも含めて市の温暖化対策の実態把握が必要である。</p> <p><b>【アンケート結果から】</b>  ・EV・PHV、FCV、太陽光発電に比べ、HEMS の認知度が低く、情報を提供する必要がある。  ・地球温暖化対策の行動のメニューを示す、あるいは行動のハードルを下げる工夫が必要である。</p> <p><b>【分科会での意見から】</b>  ・次世代自動車・スマートハウス・省エネ設備・LED 照明等、メリットがなければ、コストをかけて導入しない（補助金があるだけでは説得力がない）  →決め手はお金（コスト）  →メリットの可視化を（初期コストはかかってもランニングコストは安いなど）  →相談の機会も必要  →文章だけでなく、体験する機会を  →国や県の補助制度の紹介も必要  ・HEMS は認知度も低い  ・断熱材やペアガラスの導入への補助に対する需要がある  ・エネルギー効率が良くなると、リバウンドする可能性も  →省エネ対策は引き続き啓発が必要</p> <div data-bbox="284 1325 706 1526" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>機器の仕組みの説明  市民にとってのメリットの可視化  体験の機会  国・県等を含めた既存補助制度の紹介  リバウンド対策</p> </div>	<p><b>【個人向けの補助制度】</b>  <b>実施中の施策</b>  ・スマートハウス普及促進補助金制度  →民間企業によるスマートコミュニティ開発（和泉町・いずみ製菓跡地）  ・省エネ改修（熱損失防止改修工事）を行った住宅の固定資産税減額</p> <p><b>【地域での対策】</b>  <b>実施中の施策</b>  ・防犯灯設置補助金制度（LED 化）</p> <p><b>国・県の施策</b>  ・公共施設への ESCO 事業（県）</p> <p><b>【事業者向けの支援】</b>  <b>実施中の施策</b>  ・中小企業コーディネーターによる企業訪問</p> <p><b>国・県・他自治体の施策</b>  ・業務部門省エネ対策手引書他各種マニュアル（県）</p> <p><b>【普及啓発】</b>  <b>実施中の施策</b>  ・エコタウン桜井による環境配慮型住宅の普及啓発  ・太陽光パネルの公共施設への率先導入（本庁舎、中学校、公民館）  ・官民協働による創蓄省エネルギー推進</p> <p><b>国・県・他自治体の施策</b>  ・地球温暖化防止活動推進員（県）  ・あいちエコチャレンジ（県）  ・環境家計簿（県）  ・スマートハウスの展示「とよたエコフルタウン」（豊田市）</p> <p><b>新たに考えられる施策</b></p>	<p><b>「安城市環境基本計画」(現行計画)</b>  ・環境配慮・省エネルギー活動の促進  ・省エネルギー行動の促進  ・エネルギー家電製品などへの買替え促進  ・都市整備における省エネルギーの推進  ・都市機能の充実  →目標値[1人あたりの温室効果ガス排出削減量&lt;民生部門(仮家庭系)&gt;742kg-CO2(H27)]現況 1072kg-CO2(H17))</p> <p><b>「地球温暖化対策実行計画」</b>  ・市の事務事業の温室効果ガス排出量削減  →温室効果ガス排出量の削減目標  [エネルギー由来 20,254t(H28)]  →温室効果ガス排出量の削減目標  [ごみ焼却由来 13,449t(H28)]</p> <p><b>「先導的都市環境形成計画」</b>  ・モデルエリアを指定した低炭素都市づくりの実施（安城桜井駅周辺土地区画整理事業区域内での仮移転住宅建設、大規模工場跡地）  ・面整備事業での基本計画（南明治、桜井、新市街地）  <b>【関連】</b> 都市の低炭素化の促進に関する法律（国土交通省）</p> <p><b>「指標案」</b>  1人あたり電力使用量（家庭用電力）  1人あたり都市ガス使用量(m3)</p>

分科会より	各分野の施策の方向性	関連計画
<p><b>2) 再生可能エネルギー</b></p> <p><b>【統計資料等から】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>年間を通じて日射に恵まれており、太陽エネルギー利用による環境負荷低減が期待される。</li> </ul> <p><b>【アンケート結果から】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>年齢が高くなるほど地球環境への負担が少ないことを重視する人が増えるため、高齢者の活動を支援する必要がある。</li> <li>再生可能エネルギー発電事業は、「生活への支障」を気にする人もいるため、メリット・デメリットを周知する必要がある。</li> <li>再生可能エネルギーに関する知識は「言葉ぐらいいは」という人が最も多く、再生可能エネルギーへの理解を深める必要がある。</li> </ul> <p><b>【分科会での意見から】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>新築住宅だけではなく既存の住宅への対策も必要</li> <li>ソーラーライトなど、地元企業の環境配慮製品の普及を促進</li> <li>再生可能エネルギーは「エネルギーの地産地消」につながる</li> </ul> <p>既存住宅への対策 →</p> <p>市民の再生可能エネルギーに対する理解を深める →</p> <p>地元企業の再エネ・省エネ製品の普及を図る →</p>	<p><b>【補助制度】</b></p> <p><b>実施中の施策</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>スマートハウス普及促進補助金制度（太陽光発電）</li> <li>住宅用太陽熱高度利用システム設置補助金制度</li> <li>住宅用太陽熱温水器設置補助金制度</li> </ul> <p><b>国・県・他自治体の施策</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>愛知県住宅用地球温暖化対策設備導入促進費補助金（県）</li> <li>※市に対する間接補助</li> </ul> <p><b>新たに考えられる施策</b></p> <p>→</p> <p><b>【エネルギーの地産地消】</b></p> <p><b>国・県・他自治体の施策</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「地域新電力」を通じたエネルギーの地産地消（群馬県中之条町）</li> <li>再生可能エネルギーの基本条例策定（飯田市・多治見市・新城市）</li> </ul> <p><b>新たに考えられる施策</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>日本版「首長誓約」（地域が主体となる電力小売事業）の検討</li> </ul> <p>→</p> <p><b>【事業者との関係】</b></p> <p><b>実施中の施策</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>中部環境先進5市共同の環境配慮製品紹介</li> </ul> <p><b>国・県・他自治体の施策</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>愛知県建築物総合環境性能評価システム「CASBEE（キャスビー）あいち」（県）</li> </ul> <p><b>新たに考えられる施策</b></p> <p>→</p>	<p><b>「安城市環境基本計画」(現行計画)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>環境配慮型の建築物や設備などの導入</li> <li>建築物の省エネルギー性能の向上</li> <li>高効率エネルギー機器などの普及</li> <li>建築物の緑化</li> <li>建築物の長寿命化</li> <li>新エネルギーシステムの導入</li> <li>その他の新エネルギー活用の調査・研究</li> </ul> <p>→目標値[太陽光発電システムの普及世帯割合 6%(H27)]現況 4.9%(H25)</p> <p><b>「指標案」</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市内における太陽光発電設備容量(kW)</li> <li>太陽光発電の設置してある公共施設（か所）</li> <li>太陽光発電システム補助件数</li> <li>太陽熱温水器補助件数</li> <li>太陽熱高度利用システム補助件数</li> </ul>

分科会より	各分野の施策の方向性	関連計画
<p><b>3) 交通手段</b></p> <p><b>【統計資料等から】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市内移動には自動車に依存する傾向があり、自転車や、次世代モビリティの利用拡大を図る必要があるものの、高齢化社会を迎え、交通弱者への対策が求められる。</li> </ul> <p><b>【分科会での意見から】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>次世代自動車の通勤利用、充電スタンド設置、企業・社員双方にメリットを</li> </ul> <p><b>【分科会での意見から】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自転車専用道の周知が必要</li> <li>「健康のため」に、自転車を利用する人がいる</li> </ul> <p><b>【分科会での意見から】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自動車は「大切な足」</li> <li>道路のアクセス性、利便性が重視される</li> <li>渋滞解消も CO2 削減につながる</li> <li>自動車用の道路整備も重要</li> </ul>	<p><b>【次世代自動車普及促進】</b></p> <p><b>実施中の施策</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>次世代自動車購入費補助金制度</li> <li>庁用自動車への次世代自動車（FCV・PHV・EV）導入</li> <li>イベント開催時の次世代自動車展示</li> <li>電気自動車用充電インフラ設置</li> <li>燃料電池自動車用水素供給設備補助金制度</li> </ul> <p><b>国・県・他自治体の施策</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>低公害車導入促進費補助金、自動車エコ事業所認定制度（県）</li> <li>「愛知県EV・PHVタウン推進アクションプラン」作成（県）</li> <li>低公害車の導入義務及び報告（県）</li> <li>次世代自動車普及促進（優遇税制、購入補助金、インフラ整備）（経済産業省）</li> <li>見学が可能な水素ステーション「とよたエコフルタウン」（豊田市）</li> </ul> <p><b>新たに考えられる施策</b></p> <div style="border: 1px solid blue; height: 60px; width: 100%;"></div> <p><b>【自転車の利用促進】</b></p> <p><b>実施中の施策</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>レンタサイクル利用促進</li> <li>自転車購入費補助金制度</li> <li>自転車イベントの開催</li> </ul> <p><b>国・県・他自治体の施策</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「安全で快適な自転車利用環境創出ガイドライン」作成（国土交通省）</li> </ul> <p><b>新たに考えられる施策</b></p> <div style="border: 1px solid blue; height: 60px; width: 100%;"></div> <p><b>【道路整備】</b></p> <p><b>国・県・他自治体の施策</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>TDM（交通需要マネジメント）による渋滞緩和、ICT利用、ITS（高度道路交通システム）等による輸送効率化（国土交通省）</li> </ul> <p><b>新たに考えられる施策</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ラウンドアバウトの設置（和泉町・いずみ製菓跡地）</li> </ul> <div style="border: 1px solid blue; height: 60px; width: 100%;"></div>	<p><b>「安城市環境基本計画」(現行計画)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>エコカーへの転換</li> <li>移動手段の転換</li> <li>交通の円滑化</li> <li>自動車利用の抑制</li> <li>自転車利用の促進</li> <li>人と自転車が共存できる基盤整備</li> </ul> <p><b>「エコサイクルシティ計画」(計画期間:H27年度まで)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>安全で快適な走行空間づくり ～はしる～</li> <li>安心で便利な駐輪空間づくり ～とめる～</li> <li>自転車利用の利便性を高めるための仕組みづくり ～つかう～</li> <li>クルマからの転換を促進するしくみづくり ～かわる～</li> <li>エコサイクルシティ計画の推進</li> </ul> <p><b>「中心市街地活性化基本計画」</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>戦略④ 歩いて買い物がしやすい環境をつくる</li> <li>戦略⑤ 環境にやさしいライフスタイルが実現できるまちをつくる</li> </ul> <p><b>「都市マスタープラン」</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>低炭素都市環境の形成推進</li> </ul> <p><b>「関連指標」</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>都市計画道路整備率 80.5%以上（H25）</li> </ul> <p><b>「指標案」</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>次世代自動車補助件数</li> <li>緑道（自転車歩行者道）の整備（km）</li> <li>レンタサイクル事業のサイクルポート数（か所）</li> <li>シカーエアリング事業参加者（人）</li> </ul>

市内事業者の次世代自動車通勤の利用促進

自転車に親しむ機会  
健康のための自転車  
自転車道の利用促進渋滞の解消  
アクセスの向上

分科会より	各分野の施策の方向性	関連計画
<p style="text-align: center;">利用者の拡大 利便性の向上</p> 	<p><b>【新しい交通手段】</b></p> <p><b>実施中の施策</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・安城カーシェアリング実証事業「き～☆モビ」</li> </ul> <p><b>新たに考えられる施策</b></p> <div style="border: 1px solid blue; height: 100px; width: 100%;"></div>	
<p><b>【アンケート結果から】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公共交通を日常的に利用する人は1割で、路線バスはさらに少なく1%である。</li> <li>・「交通の利便性」は、「優れている」とする回答が「まちの景観」に次いで多かったものの、「劣っている」もそれ以上の回答があり、安城市の弱みと言える。</li> <li>・公共交通が便利と感じる人と不便と感じる人の割合はいずれも5割で、市南西部在住の方は、不便を特に強く感じ、自家用車に依存する傾向がある。駅やバス停が近いことが便利と感じるポイントであることから、バスの路線を検討する必要がある。</li> </ul> <p><b>【分科会での意見から】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全国的にバスドライバー不足、あんくるバスの拡充は現状困難</li> <li>・公共交通、市民に親んでもらう工夫も。</li> <li>・便利でなければ使われない。</li> </ul> <p style="text-align: center;">市民に親んでもらう工夫</p> 	<p><b>【公共交通機関の利用促進】</b></p> <p><b>実施中の施策</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・あんくるバスの運行</li> <li>・あんくるタクシー（乗合タクシー）</li> </ul> <p><b>国・県・他自治体の施策</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「エコ モビリティ ライフ」推進表彰（県）</li> </ul> <p><b>新たに考えられる施策</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・あんくるバス路線の見直し（H28年度検討・H29年度実施）</li> </ul> <div style="border: 1px solid blue; height: 100px; width: 100%;"></div>	<p><b>「安城市環境基本計画」(現行計画)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公共交通機関の利便性の向上 →目標値[公共交通機関についての満足度60%(H27)]現況56.8%(H25)</li> </ul> <p><b>「中心市街地活性化基本計画」</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・戦略④ 歩いて買い物がしやすい環境をつくる</li> <li>・戦略⑤ 環境にやさしいライフスタイルが実現できるまちをつくる</li> </ul> <p><b>「都市マスタープラン」</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・環境や高齢者などに配慮した公共交通の充実と利用促進</li> <li>・低炭素都市環境の形成推進</li> </ul> <p><b>「指標案」</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・あんくるバスの利用者数（人）</li> </ul>



分科会より	各分野の施策の方向性	関連計画
<p><b>2. 生活環境【生活環境分科会】</b></p> <p>1) 健全な生活環境</p> <p><b>【統計資料等から】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公害については、概ね環境基準を満たしているものの、大気質と水質の一部で環境基準を超えているものがある。</li> <li>・下水道普及率は増加し、合併浄化槽の設置基数が増加しているものの、油ヶ淵のSS、CODが環境基準を超えており、生活排水対策が必要である。</li> </ul> <p><b>【分科会での意見から】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子供の声がうるさいという人もいる。</li> <li>・野焼きは、認識の問題もある→ビニール類を燃やす=害があるといったことを知る必要がある</li> </ul>	<p>大気、水質、騒音等の防止は、市民個人が自分の行動と結果の関連性を把握できず、自分へのメリットがわかりにくい。周りや仲良く暮らすという観点から啓発する。</p> <p>水田は、維持を望む市民が直接維持管理するわけではないので、景観上の緑地として扱う。営農上メリットがある対応を想定する。</p> <p><b>【生活型公害の防止】</b></p> <p><b>実施中の施策</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・次世代自動車購入費補助金制度</li> <li>・大気・水質・騒音・振動等の環境監視</li> <li>・清掃日よりで年一回の啓発（野焼き）</li> <li>・事業所に対する環境保全講習会の開催</li> <li>・浄化槽設置補助金制度</li> <li>・生活排水対策モデル地区事業（モデル地区において、学習会、1ヶ月の実施活動）</li> <li>・下水道整備と接続の促進</li> <li>・ISO等認証取得事業補助金</li> <li>・ISO等更新支援事業補助金</li> <li>・中小企業コーディネーターによる企業訪問</li> </ul> <p><b>国・県・他自治体の施策</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・エコドライバープロジェクト（環境省）</li> <li>・全県域汚水適正処理構想（H28見直し予定）</li> </ul> <p><b>新たに考えられる施策</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・住工混在地区の解消（都市マスタープラン）</li> <li>・汚水適正処理構想策定（目標：10年後の汚水処理人口普及率95%）</li> <li>→合併浄化槽の補助金拡大</li> <li>→下水道整備と接続の促進強化</li> </ul>	<p><b>「安城市環境基本計画」(現行計画)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・環境にやさしい運転マナーの普及</li> <li>・大気汚染の防止</li> <li>・水質汚濁の防止</li> <li>・騒音・振動・悪臭の防止</li> <li>・土壌・地下水汚染の防止</li> <li>・有害化学物質などの対策</li> <li>・大気汚染の防止（生活型公害の防止）</li> <li>・水質汚濁の防止（生活型公害の防止）</li> <li>・近隣公害の防止（生活型公害の防止）</li> <li>・持続可能な農業の推進</li> </ul> <p><b>「食料・農業・交流基本計画」</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・環境負荷の軽減</li> </ul> <p><b>「指標案」</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大気、土壌、騒音、ダイオキシン類に係る環境基準達成率（%）</li> <li>・公害苦情件数（件）</li> <li>・各河川における水質（BOD値）の環境基準達成率（%）</li> </ul>


自分の行動と結果の関連性を把握できる啓発  
事業者・住民のコミュニケーション









分科会より	各分野の施策の方向性	関連計画
<p><b>【統計資料等から】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>緑化に関する計画では、一部指標が管理されていないものがあるため、今後は何らかの形で進捗を把握する必要がある。</li> <li>雨水浸透施設、貯留施設の整備は、徐々に進んでいる。</li> </ul> <p><b>【アンケート結果から】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「まちの景観」は、「優れている」とする回答が最も多いうえ「劣っている」とする回答より3割程度多く、安城市の強みといえる反面、「劣っている」とする回答が最も多い項目で、意見が割れている。</li> </ul> <p><b>【分科会での意見から】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>田んぼのあぜ道が除草剤で茶色に</li> <li>景観の観点での田園風景と自然環境の観点の田んぼでは捉え方が違う</li> <li>街路樹の葉を地域の人が集めて堆肥にして、きれいな街路樹を保っているところがある</li> </ul> <div data-bbox="388 737 736 831" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>地域を巻き込んだ景観づくり ※ポイ捨てにも関連</p> </div> <div data-bbox="181 1644 759 1808" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>緑化への理解を求める(落ち葉や虫・鳥の問題への理解) 市民・事業者による緑化・美化の支援 ※ポイ捨てにも関連</p> </div>	<p><b>【都市景観】</b></p> <p><b>実施中の施策</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>景観を害する屋外広告物の除去</li> <li>放置自転車対策事業</li> <li>町内一斉清掃</li> <li>水田貯留事業</li> <li>雨水貯留浸透施設設置補助事業</li> <li>ふれあい田んぼアートの実施支援</li> </ul> <p><b>国・県・他自治体の施策</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>景観形成作物の作付け「経営所得安定対策」(農林水産省)</li> </ul> <p><b>他自治体事例</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「割れ窓理論」実践運動(落書き消し大作戦)(京都市)</li> <li>岡崎市水と緑・歴史と文化のまちづくり条例(岡崎市)</li> </ul> <p><b>新たに考えられる施策</b></p> <div data-bbox="923 678 1760 894" style="border: 1px solid blue; height: 100px; margin: 10px 0;"></div> <p><b>【美化・緑化】</b></p> <p><b>実施中の施策</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>花壇コンクールの実施(小中学校、子ども会)</li> <li>ガーデニング・みどりのカーテン・オープンガーデンコンテストの実施</li> <li>生垣等設置奨励金制度(生垣設置事業・駐車場緑化事業・街並み緑化事業)</li> <li>安城市都市緑化推進事業補助制度</li> <li>植樹祭の開催・緑化木の配布</li> <li>樹林保全地区、保護樹木の指定及び指定された保全地区等の保全に必要な費用の助成</li> <li>環境美化ボランティア(アダプト・プログラム)</li> <li>公園愛護会事業及び街路樹愛護会事業の実施</li> </ul> <p><b>国・県・他自治体の施策</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>緑化木の配布(愛知県)</li> <li>フラワー・ブラボー・コンクール(中日新聞社と中部7県1市)</li> <li>あいち緑のカーテンコンテスト(愛知県)</li> </ul> <p><b>新たに考えられる施策</b></p> <div data-bbox="923 1661 1760 1877" style="border: 1px solid blue; height: 100px; margin: 10px 0;"></div>	<p><b>「安城市環境基本計画」(現行計画)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>田園風景の保全</li> <li>河畔林などの維持保全</li> <li>歴史ある緑の保全</li> <li>公共用地の緑化</li> <li>民有地の緑化</li> <li>→目標値[樹高が3m以上になる木の本数140,000本(H27)]現況138,329本(H25)</li> </ul> <p><b>「都市マスタープラン」</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市街地における緑の保全と緑化の推進</li> <li>地域の個性を尊重した、誇りと愛着の持てる景観形成</li> <li>緑道ネットワークの形成</li> <li>地域農業の進行施策と連携した田園環境の保全</li> </ul> <p><b>「緑の基本計画」</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>苗木の配布</li> <li>民有地の緑化</li> <li>環境首都の顔となる緑をつくる</li> <li>まちを彩る緑を増やす</li> <li>先人たちが残した緑を活かす</li> </ul> <p><b>「アグリライフ構想」</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>身近な市民農園の整備促進</li> </ul> <p><b>「食料・農業・交流基本計画」</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域特性に応じた住環境の整備</li> <li>→指標[緑道の整備 28.3km(H27)] 現況 29.8km(H22年度終了時)</li> </ul> <p><b>「緑の基本計画」(目標年次 H32)</b></p> <p>環境首都の顔となるみどりをつくる</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>→[油ヶ淵水辺公園の整備 第一期整備区域(21.0ha)の開園][都市緑地の指定 20.0ha]</li> <li>[都市公園10ヶ所(街区公園8ヶ所、近隣公園2ヶ所)]</li> <li>[都市公園の拡張4ヶ所(近隣公園)]</li> <li>まちを彩る緑を増やす</li> <li>→[公共施設の緑化 被面積1.0ha+年間500本の植栽]</li> <li>[新設の街区公園の緑被率確保(40.0%(新設8ヶ所 15,480㎡)]</li> <li>[新設・拡張を行う近隣公園の緑被率確保 60.0%(新設2ヶ所 20,400㎡、拡張2ヶ所 29,200㎡)]</li> <li>[既設公園の緑被率確保 10.0%(全91ヶ所 85,030㎡)]</li> <li>[苗木の配布 年間1,000本]</li> <li>[民有地の緑化年間500本の植栽]</li> <li>先人たちの残した緑を活かす</li> </ul>



分科会より	各分野の施策の方向性	関連計画
		<p>→[農地の保全 3,350haを確保]現況 3,792ha (H26) [市民農園の開設 年間2ヶ所を開設]</p> <p>「指標案」 ・認定農業者数 (人)</p>
<p>【アンケート結果から】 ・根羽村は全く知らないという人が全体の3分の1あり、水資源保全を踏まえて、継続的な啓発・交流活動が必要である。</p> <p>【分科会での意見から】 ・水源である根羽村を知らない人が多い。</p> <div data-bbox="463 695 753 758" style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">「根羽村ファン」を増やす</div>  <p>【統計資料等から】 ・下水道普及率は増加し、合併浄化数の設置基数が増加しているものの、油ヶ淵のSS、CODが環境基準を超えており、生活排水対策が必要である。(再掲)</p> <p>【分科会での意見から】 ・油ヶ淵の水質向上のため、具体的に市民や事業者(工業・農業)ができる対策は? ・水が家庭を通して油ヶ淵に入っていることを知ってもらう(家庭排水が油ヶ淵に負荷をかけている)</p> <div data-bbox="270 1377 765 1440" style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">油ヶ淵に対する知識(意識)の向上</div> 	<p>【水資源の確保】 <b>実施中の施策</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・矢作川水源の森分収育林事業 (H34年3月契約終了)</li> <li>・根羽村植樹祭(根羽村主催)への参加</li> <li>・わくわくネイチャースクール</li> <li>・野外教育活動(中学生:安城市茶臼山高原野外センター)</li> </ul> <p><b>新たに考えられる施策</b></p> <div data-bbox="917 632 1757 842" style="border: 1px solid blue; height: 100px;"></div> <p>【水辺の環境保全】 <b>実施中の施策</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・下水道整備と接続の促進</li> <li>・浄化槽設置補助金制度</li> <li>・事業所に対する環境保全講習会の開催</li> <li>・油ヶ淵浄化デー</li> <li>・川と海のクリーン大作戦の展開(矢作川河川敷の清掃活動)</li> </ul> <p><b>国・県・他自治体の施策</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・油ヶ淵流域モニタリング(県)</li> <li>・油ヶ淵浄化対策(県)</li> </ul> <p><b>新たに考えられる施策</b></p> <div data-bbox="917 1356 1757 1608" style="border: 1px solid blue; height: 120px;"></div>	<p>「安城市環境基本計画」(現行計画)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・豊富な水資源の確保</li> <li>・水循環の維持・回復</li> <li>・良好な水質の維持</li> </ul> <p>「雨水マスタープラン」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・雨水浸透施設の整備 →[雨水流出抑制量 1,430 m<sup>3</sup>(H32)] 現況 302 m<sup>3</sup> (H25)</li> <li>・雨水貯留施設の整備 →[水田貯留を実施する水田面積 60ha(H32)] 現況 6ha (H25) [雨水流出抑制量(水田貯留量を除く) 87,260 m<sup>3</sup>(H32)] 現況 36,792 m<sup>3</sup> (H25)</li> </ul> <p>「指標案」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・油ヶ淵水質COD値 (mg/l)</li> <li>・雨水貯留浸透施設設置補助件数 (件)</li> </ul>

分科会より	各分野の施策の方向性	関連計画
<p><b>2) 自然との共生</b></p> <p><b>【統計資料等から】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>公園は市域の約 1% で、市域の約 45% を占める農地は減少傾向にあり、生き物のすみかとしても田畑を残す必要がある。</li> <li>農と環境の調和に関しては、「食料・農業・交流基本計画」で取り組みが進められており、一部目標は、目標年度を前に目標値を達成している。</li> </ul> <p><b>【アンケート結果から】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「生きものの多様さ」は、劣っている点に挙げる人が多く、自由意見にも触れ合いの場が減ったとの意見があり、触れ合いの場を充実させる必要がある。</li> </ul> <p><b>【分科会での意見から】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>生き物で賑わう田んぼの風景を若い人は知らない</li> <li>外来種によって在来種が駆逐されている現状がある</li> <li>市の一部で無農薬の田んぼがあり、生き物がたくさんいる。</li> </ul> <div data-bbox="362 743 753 848" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">       田んぼを利用した自然体験        外来生物の放逐禁止の周知     </div> 	<p><b>【生物多様性】</b></p> <p><b>実施中の施策</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>セミのぬけがら調査</li> <li>多自然型川づくり</li> <li>農業の有する多面的機能発揮促進事業</li> </ul> <p><b>国・県・他自治体の施策</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>エコファーマー認定制度（県）</li> <li>西三河生態系ネットワーク協議会（県）</li> <li>「つなげよう、支えよう森里川海」プロジェクト（環境省）</li> <li>環境保全型農業直接支払交付金（農林水産省）</li> </ul> <p><b>新たに考えられる施策</b></p> <div data-bbox="914 562 1754 814" style="border: 1px solid blue; height: 120px; width: 100%;"></div>	<p><b>「安城市環境基本計画」(現行計画)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>水に親しめる空間の形成</li> <li>絶滅危惧種などの保護</li> <li>生態系を配慮した整備</li> <li>外来生物の適正管理と防除 →目標値[セミのぬけがら確認数 20,000 個(H27)]現況 13,499 個(H25)</li> </ul> <p><b>「都市計画マスタープラン」</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>多自然型川づくりによる親水性豊かな水辺空間の整備推進（郷東川約 97m 区間）</li> <li>自然環境の保全・活用による公園緑地の整備の推進</li> </ul> <p><b>「食料・農業・交流基本計画」</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>農業の自然循環機能の維持増進・地域環境保全等の取り組みへの支援 →[エコファーマー数 300 人(H27)]現況 247 人 (H25 年度) [V 溝直播面積 500ha(H27)]現況 514ha (H25 年度)</li> <li>環境負荷の軽減 →[フェロモン剤の利用面積 1,000ha(H27)]現況 970ha(H25 年度) [農薬の使用量の削減率 37%(H27)]現況 33.1%(H25 年度) [化学肥料の使用量の削減率 37%(H27)]現況 29.3%(H25 年度)</li> <li>確保すべき農地面積 →[3,690ha(H27)]現況 3,792ha (H26)</li> <li>地域特性に応じた住環境の整備</li> </ul> <p><b>「指標案」</b></p> <p>セミの抜け殻調査参加者数（人）</p>



分科会より	各分野の施策の方向性	関連計画
<p><b>3. 資源循環【資源循環分科会】</b>  <b>1) 廃棄物の削減・資源化の促進</b>  <b>【統計資料等から】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>一人一日あたりの可燃ごみ搬入量が近年増加傾向にあり、資源ごみの収集量も減少傾向にあることから、廃棄物削減に対する意識の強化が必要である。</li> <li>ごみ発生量等について、一部数値が整理されていないものがあるため、今後は何らかの形で進捗を把握する必要がある。</li> </ul> <p><b>【分科会での意見から】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>日本のごみ問題は、最終処分場の問題。リサイクルがゴール</li> <li>最近環境省も 2R に転換した。</li> <li>2R（リデュース、リユース）は、モノのライフサイクル全体での環境負荷を低減する考え方。リサイクルは処分するものは出ないが環境に負荷がかかる。</li> <li>2R は見せ方に工夫を</li> </ul> <div data-bbox="498 705 750 810" style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">       ごみになる前の対策        2Rの啓発     </div> 	<p><b>【2R(リデュース・リユース)】</b>  <b>【実施中の施策】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>リサイクル自転車の販売（放置自転車対策）</li> <li>七夕まつりに使用した竹の再利用</li> <li>再生家具等の販売</li> <li>エコセンターあんじょうの運用</li> </ul> <p><b>【国・県・他自治体の施策】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>環境ビジネス支援（県）</li> <li>愛知環境賞の実施（県）</li> <li>2R の取り組み推進（環境省）</li> <li>ウォーターフットプリント算出の促進（原料製造から廃棄処理までの各段階における水消費量）（環境省）</li> </ul> <p><b>【新たに考えられる施策】</b></p> <div data-bbox="914 632 1757 898" style="border: 1px solid blue; height: 127px; width: 284px;"></div>	<p>「安城市環境基本計画」(現行計画)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ごみ減量意識の向上</li> <li>ごみ減量行動の促進</li> <li>経済的手法の検討</li> <li>再利用・再生利用の促進</li> <li>事業系一般廃棄物の減量</li> </ul> <p>→目標値[1人1日当たり家庭系ごみ排出量 428g (H27)]現況 499g (H25)</p> <p>「一般廃棄物処理基本計画」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ごみを作り出さない工夫や啓発を積極的に行います。</li> <li>ごみ減量意識の高揚</li> <li>資源を徹底的に有効利用し、限りある天然資源の消費を抑制します</li> </ul> <p>→目標</p> <p>[1人1日当たりごみ発生量 目標 890g (H29)]現況 896g/人・日]  [1人1日当たりごみ排出量 目標 611g (H29)]現況 728g/人・日]  [1人1日当たり資源ごみ発生量 目標 254g (H29)]</p> <p>「指標案」</p> <p>1人1日あたりごみ発生量 (g/日)  1人1日あたりごみ排出量 (g/日)  市内のごみ減量推進店 (店)  ごみの最終処分 (埋立て) 量 (t)</p>
<p><b>【分科会での意見から】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ごみ分別、一人暮らしの人は時間もなく徹底できない</li> <li>関心のない人は、そもそも情報を得ようとしない</li> <li>ごみ有料化に賛成の人は、ごみに詳しい人が多い</li> <li>クリーンセンターでは、分別の悪い事業系のごみ袋は受け取りを拒否している。</li> <li>ごみ減量は頭打ちだが、維持されている。今後、何もしなければリバウンドする</li> <li>環境アドバイザーで AGK（安城ごみ減量協力隊）を結成した</li> </ul> <div data-bbox="457 1665 750 1770" style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">       無関心層への啓発        啓発以外の手段の検討     </div> 	<p><b>【ごみの減量】</b>  <b>【実施中の施策】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>生ごみ処理機器購入補助金制度</li> <li>家庭用乾燥式生ごみ処理機モニター制度</li> <li>ダンボールコンポストの講習会</li> <li>乾燥生ごみと野菜やトイレットペーパーの交換</li> <li>生ごみ減量化モデル地域支援制度</li> <li>EM ぼかし配布</li> <li>環境戦隊サルビアンによる啓発</li> <li>地域クリーン推進員制度を利用したごみの分別・減量説明会、不法投棄の監視や撤去等の実施、研修会の実施</li> <li>事業系一般廃棄物の分別指導</li> <li>4R・分別の推進、効果的運動の検討</li> </ul> <p><b>【新たに考えられる施策】</b></p> <div data-bbox="914 1665 1757 1892" style="border: 1px solid blue; height: 108px; width: 284px;"></div>	<p>「安城市環境基本計画」(現行計画)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>適正な分別の推進</li> </ul> <p>「指標案」</p> <p>燃やせるごみの中の資源物重量割合 (%)</p>

分科会より	各分野の施策の方向性	関連計画
<p><b>【分科会での意見から】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・リサイクルされた先に見える化が必要</li> <li>・学校で勉強した子どもから大人にリサイクル意識が伝わっている</li> <li>・古紙回収量の減→使用済みの紙自体が減った、民間の回収業者に流れた（便利な仕組みが求められている）</li> <li>・リサイクル後の製品を利用しないと、循環にならない</li> </ul> <div data-bbox="457 758 747 863" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 20px;"> 再生された製品の提示 再生品の利用促進 </div> 	<p><b>【リサイクル】</b></p> <p><b>実施中の施策</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・有価物回収地区報償金事業の実施</li> <li>・安城市資源事業推進報償金事業の実施</li> <li>・ペットボトル・乾電池回収推進報償金事業の実施</li> <li>・リサイクルステーションの運用</li> <li>・総合リサイクルステーション（エコらんど）の運用</li> <li>・溶融スラグの資源活用</li> <li>・古紙類の回収</li> <li>・古着の回収</li> <li>・空き缶などの資源ごみの持ち去り防止</li> </ul> <p><b>国・県・他自治体の施策</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・愛知県リサイクル資材評価制度（あいくる）（県）</li> <li>・「地域循環圏」づくり（環境省）</li> <li>・「3R 見える化ツール」作成（環境省）</li> </ul> <p><b>新たに考えられる施策</b></p> <div data-bbox="914 758 1754 1018" style="border: 2px solid blue; height: 124px; margin-top: 10px;"></div>	<p><b>「安城市環境基本計画」(現行計画)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・再利用・再生利用の促進</li> <li>・資源ごみの持ち去り防止</li> </ul> <p><b>「食育推進計画」</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・食品廃棄物の活用</li> </ul> <p><b>「食料・農業・交流基本計画」</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・農業の自然循環機能の維持増進・地域環境保全等の取り組みへの支援</li> </ul> <p>→指標[せん定枝処理量 1,500t(H27)] 現況1,484t(H25年度)</p> <p><b>「指標案」</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1人1日あたり資源ごみ発生量(g/日)</li> <li>・リサイクルステーションの回収量(t)</li> </ul>
<p><b>3) 廃棄物の適正処理</b></p> <p><b>【統計資料等から】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1997年に完成したクリーンセンターの老朽化対策が必要である。</li> </ul> <div data-bbox="433 1409 724 1461" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 20px;"> クリーンセンターの延命化 </div> 	<p><b>【ごみの処理】</b></p> <p><b>実施中の施策</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・適正な廃棄物処理計画の策定ごみ収集作業手順書の遵守</li> <li>・家電リサイクル法対象品目の不法投棄数を減らす</li> </ul> <p><b>国・県・他自治体の施策</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「全国ごみ不法投棄監視ウィーク」の実施（環境省）</li> <li>・「廃棄物処理施設長寿命化計画作成の手引き（ごみ焼却施設編）」作成（環境省）</li> </ul> <p><b>新たに考えられる施策</b></p> <div data-bbox="914 1388 1754 1654" style="border: 2px solid blue; height: 127px; margin-top: 10px;"></div>	<p><b>「安城市環境基本計画」(現行計画)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・適正で効率的なごみ処理の推進</li> <li>・不法投棄の対策</li> </ul> <p><b>「指標案」</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・家電4品目の不法投棄台数(台)</li> </ul>

分科会より	各分野の施策の方向性	関連計画
<p>4) 地産地消</p> <p>【分科会での意見から】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>旬のものを地産地消する →健康的、経済的 →「身土不二」（その土地でその季節にとれたものを食べるのが健康に良い）という考え方が多い</li> <li>旬のものが何かわからない人も多い</li> </ul> <div data-bbox="332 709 744 758" style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">地産地消に対する知識の向上</div> 	<p>【地産地消の推進】</p> <p><b>実施中の施策</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アグリライフ支援センター（野菜作り入門コース、体験・スポット講座、一坪農園）</li> <li>・地産地消の啓発（イベント時に地産地消や旬産旬消の啓発）</li> <li>・安城まちなかホコ天きーぼー市での地元農産物の販売の支援</li> <li>・食育啓発活動</li> <li>・学校給食における地元（碧海5市）農産物（青果物）の使用</li> </ul> <p><b>国・県・他自治体の施策</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・いいともあいち運動（県）</li> <li>・農ある暮らし（県）</li> <li>・「六次産業化・地産地消法」の制定（平成22年制定）（農林水産省）</li> <li>・地方創生のためのしごとづくり支援（経済産業省）</li> </ul> <p><b>新たに考えられる施策</b></p> <div data-bbox="914 678 1760 947" style="border: 1px solid blue; height: 128px; width: 285px;"></div>	<p>「安城市環境基本計画」(現行計画)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・農ある暮らし（アグリライフ）の普及</li> <li>・地産地消・旬産旬消の推奨</li> <li>・食料自給率の向上</li> </ul> <p>「食料・農業・交流基本計画」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・食文化・地域食材の理解の促進</li> <li>・産地直売の推進（地元産食材の利用促進・普及啓発） →[産地直売施設数6ヶ所（H27）] 現況6ヶ所（H25年度）</li> <li>・地場農産物の普及活動 →[地産地消をテーマにした紙芝居の開催10回（H27）]現況10回（H25年度） [学校給食における地元農産物（青果物）の購入割合40%（H27）] 現況49.1%（H26）</li> <li>・食料自給率の目標設定 →[35.2%（H27）]現況36.4%（H25）</li> </ul> <p>「アグリライフ構想」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・身近な市民農園の整備促進</li> </ul> <p>「食育推進計画」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・産地直売の推進</li> <li>・地産地消の推進</li> </ul>
<p>3) ポイ捨て・マナー</p> <p>【アンケート結果から】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「ポイ捨てなどの環境マナー」も、劣っている点の回答が優れている点の回答を大幅に上回っており、安城市の弱みと言える。平成26年12月に制定された「安城市さわやかマナーまちづくり条例」の施行・周知と併せ、対策が急務である。</li> </ul> <p>【分科会での意見から】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・草むらなど、荒れた場所にはごみが捨てられる（割れ窓理論）</li> <li>・マナーは地域に対する誇りから生まれる</li> <li>・自分の家の中にごみは捨てない。街は自分の家という感覚を</li> <li>・ごみのある所とない所を小学生に調べてもらい、ワーストを、広報を使って知らせてみては</li> </ul> <div data-bbox="332 1570 736 1667" style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">ポイ捨てしづらい環境づくり 市民の意識向上</div> 	<p>【環境マナー】</p> <p><b>実施中の施策</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・安城市さわやかマナーまちづくり条例制定</li> <li>・アダプト・プログラム制度</li> <li>・ポスターコンクール及び環境美化標語募集の実施</li> <li>・公園愛護会事業及び街路樹愛護会事業の実施</li> <li>・クリーン推進員説明会の開催</li> <li>・町内一斉清掃</li> </ul> <p><b>国・県・他自治体の施策</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・不法投棄対策にハイブリッド御幣を設置（新城市富岡地区）</li> </ul> <p><b>新たに考えられる施策</b></p> <div data-bbox="914 1514 1760 1782" style="border: 1px solid blue; height: 128px; width: 285px;"></div>	<p>「安城市環境基本計画」(現行計画)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ポイ捨ての防止</li> <li>・ふん害の防止</li> <li>・地域での清掃活動の推進</li> </ul>

分科会より	各分野の施策の方向性	関連計画
<p><b>4 環境教育・啓発</b> 1) 環境教育の推進</p> <p>【統計資料等から】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>図書館における読み聞かせの他、保育園・幼稚園、児童センター、小中学校等で子供に対する環境学習を実施しており、引き続き実施する。</li> <li>環境アドバイザー、まちづくり人材やコーディネーター等の養成講座により、協働を担う人材を育成している。</li> </ul> <p>【アンケート結果から】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>環境問題に対する情報源としては、市の広報を半数以上の人が回答していることから、今後も活用する。</li> </ul> <p>【分科会での意見から】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>関心のない人は、イベントに来ない。深堀できても横に広がりがない</li> <li>子どもや孫の世代がどうなるか考えてもらう。</li> <li>子どもの学習を通じて学校経由で、30～40代の市民には情報を伝えられる。</li> </ul> <div data-bbox="163 793 747 898" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>環境教育の手段化(環境教育することが目的ではなく) 課題解決のためのツールとしての活用</p> </div>	<p>【環境教育の推進】</p> <p><b>実施中の施策</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>かがくのひろば開催</li> <li>自然教室の開催</li> <li>各保育園、幼稚園、児童センター、小中学校で環境学習を実施</li> <li>環境学習施設としてリサイクルプラザの活用</li> <li>秋葉いこいの広場環境学習センター「エコきち」、安城市こどもぐるぐるゼミナール、わくわくネイチャースクール、図書館の活用</li> </ul> <p><b>国・県・他自治体の施策</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「あいちエコアクション」(市民向け)(県)</li> <li>「愛知県環境学習施設等連絡協議会」の充実・強化(県)</li> </ul> <p><b>新たに考えられる施策</b></p> <div data-bbox="914 604 1757 919" style="border: 1px solid blue; height: 150px; margin-top: 10px;"></div>	<p>「安城市環境基本計画」(現行計画)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>環境学習機会の充実</li> <li>子どもに対する環境学習の推進</li> <li>指導者の養成</li> <li>理解向上のための機会の提供(生態系)</li> </ul> <p>「市民協働推進計画」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>悠々熟年世代のいきがい探し講座</li> </ul> <p>「食料・農業・交流基本計画」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>アグリライフ支援センターの活用</li> </ul> <p>「エコサイクルシティ計画」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自転車の利用促進に向けたきっかけづくり ～きづく～</li> <li>自転車を正しく利用するための意識づくり ～まもる～</li> </ul> <p>「指標案」</p> <p>環境アドバイザー派遣回数(回) (分野ごとに設定)</p> <p>こどもエコクラブ数(団体)</p> <p>エコライフひろめ隊世帯数(世帯)</p>
<p>2) 協働の推進</p> <p>【アンケート結果から】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>環境関係のイベントは特に会社員の認知度が低く、周知する必要がある。</li> <li>「会社員」「農業」「公務員、団体職員」は地球温暖化対策の影響の「実感がない」人が多く、対策をすでに実行している人も多くはないため、これらの人々を巻き込む仕組みづくりが必要である。</li> </ul> <div data-bbox="273 1390 747 1495" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>ニーズに対するマッチング機能の強化 イベント以外の啓発手段の検討</p> </div>	<p>【環境教育の仕組みづくり】</p> <p><b>既存施策</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>環境アドバイザー制度、環境アドバイザー養成講座</li> <li>地球温暖化対策地域協議会エコネットあんじょうとの協働(様々な環境学習イベント・講座などを協働で実施)</li> </ul> <p><b>国・県の施策</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「あいち資源循環推進センター」(県)</li> <li>企業の社会貢献活動の実例紹介(環境保全、地域の清掃・美化活動等)(県)</li> </ul> <p><b>新たに考えられる施策</b></p> <div data-bbox="914 1390 1757 1705" style="border: 1px solid blue; height: 150px; margin-top: 10px;"></div>	<p>「安城市環境基本計画」(現行計画)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>イベントなどに関する情報提供</li> <li>環境拠点の整備・充実</li> <li>市の取組みに関する情報提供</li> <li>環境産業・環境配慮型製品などの創出</li> <li>市民・市との協働の推進</li> </ul> <p>「市民協働推進計画」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>協働のまちづくり人材養成講座事業</li> <li>市民協働コーディネーター育成事業</li> <li>市民活動活性化事業</li> </ul> <p>「緑の基本計画」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市民の心に緑を育む</li> <li>→[都市緑化活動に関する新規広報媒体の作成10,000部(H32)] [植栽活動の実施のべ5,000人以上が参加(H32)]</li> </ul> <p>「指標案」アダプト団体数(団体)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市民、事業者、民間団体と市のパートナーシップによる環境保全活動件数(件)</li> <li>環境情報ホームページアクセス件数(件)</li> </ul>